

会場

東京ミッドタウン八重洲カンファレンス 4階

東京都中央区八重洲二丁目2番1号（JR 東京駅 地下直結）

対象

企業経営幹部の皆様（会場）

経営企画・R&D部門、調達、サステナビリティ部門等のご担当者様（オンライン）

参加方法および参加費

会場参加（定員：約50社100名）

- SEA会員企業の経営幹部の方 | 参加枠1社 3名様まで参加可能

※会場へのご参加はSEA会員企業様に限らせていただいておりますが、参加枠3名のうち2名は、SEA会員企業様以外の取引先・別会社の経営幹部の方をご招待いただけます。

オンライン参加（定員：制限なし）

- SEA会員企業様 | 何名でも参加可能

- SEA会員様からのご紹介の方

※本フォーラムは、SEA会員様からのご紹介を通じてご参加いただけます。

経営哲学の深化

不確実な時代の未来指針を示す

羅針盤フォーラム 2026

時代を牽引する知性・異才が集い、未来を見立てる。
経営幹部のための哲学&価値創出フォーラム

SEA（Sustainable Executive Alliance）は、アミタが提供する
「サステナビリティ経営を志向する経営幹部の価値共創コミュニティ」です。
羅針盤フォーラムは、SEA会員企業様の経営哲学を深化させ、
未来への指針を共に探究するプログラムです。

SEA Sustainable Executive Alliance

特設Webサイト・お申込みはこちら

<https://sea-amita.com/>



AMITA アミタ株式会社

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台四丁目3番地 新お茶の水ビルディング12階

TEL：03-5281-8362 HP：https://www.amita-net.co.jp/

業務責任者 | アミタ株式会社 代表取締役社長 宮原 伸朗

※無断転載禁止

全4回シリーズ

- 7/28(火) ■ 9/9(水)
- 10/9(金) ■ 11/19(木)

16:00-18:00
18:10-19:15 会場のみ懇親会あり

SEA Sustainable Executive Alliance

経済大国から循環大国へ

企業の共存戦略で、社会課題解決市場を切り拓く

サステナビリティ経営は、過去の延長線上にはありません。「何を実現したいか」という意志を起点に、未来からの逆算と仮説検証によって理想を現実に変える。AIによる推論学習は、その新しい経営の可能性を飛躍的に拡張しました。

本フォーラムでは、時代を牽引する知性・異才が集い、意志ある経営者の時代考察と事業構想に資する上質な議論を展開します。「経済大国から循環大国へ」「課題先進国から価値創造先進国へ」ー 変革の最前線に、ぜひご参加ください。

第1回

知性の羅針盤

「マルチエージェントAIがもたらす人間拡張とは」

マルチエージェントAIの進化は、業務効率化を超え、人間の知性そのものの拡張へと向かっています。複数のAIが協働する時代において、今、「生命・人間・価値の再定義」が求められます。今回は、東洋哲学の視座から日本の美意識と価値創出の本質を捉え、AI時代における人間の役割、知性のあり方、そして新たな社会システムの基盤を探ります。

【論点】

- 東洋哲学から見る日本の美意識と価値創出の本質
- AIと共生共創するための哲学的基盤と、人間拡張の意味
- AIがもたらす知性の進化と社会的インパクト
- 技術・制度・倫理を統合する新社会システム設計の方向性

登壇者

中島 隆博 氏

東京大学 東洋文化研究所 教授



澤田 純 氏

NTT株式会社 取締役会長



中島 隆博 氏：哲学者。1964年生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程中途退学後、東京大学文学部助手等を経て、2014年から現職。専門は中国哲学、日本哲学、世界哲学。経団連総合政策研究所研究主幹として資本主義・民主主義に関しても研究を行う。

澤田 純 氏：日本電信電話株式会社(現 NTT株式会社)代表取締役社長を経て、同社取締役会長。社長在任中は、次世代情報通信基盤構想「IOWN（Innovative Optical and Wireless Network）」の立ち上げ、NTTグループの再編成、国内外における戦略的パートナーシップの強化など、将来を見据えた大胆な改革に取り組んだ。

ナビゲーター

アマタホールディングス株式会社 代表取締役会長 兼 CVO 熊野 英介

第2回

市場の羅針盤

「マルチエージェントAIがもたらすビジネスモデル変革とは」

市場の評価軸は、投資家中心のSDGs・ESG評価から、全ステークホルダーによる“社会的インパクト”評価へ――。「社会課題解決」を成長戦略の中核に据える企業こそ、新たな市場の担い手となる時代が到来しました。今回は、AIによる社会変革の只中で、複雑化した市場を「循環・再生する構造」として捉え直し、日本発の独自価値とビジネスモデル変革の方向性を探ります。

【論点】

- 世界の構造変化と時代の見立て
- AIがもたらす市場のパラダイムシフト
- 日本が発揮しうる独自価値の方向性
- ビジネスモデル変革の具体的可能性

登壇者

鎌田 恭幸 氏

鎌倉投信株式会社 代表取締役社長



安宅 和人 氏

慶應義塾大学 環境情報学部 教授
LINEヤフー株式会社 シニアストラテジスト
一般社団法人「残すに値する未来」代表理事



鎌田 恭幸 氏：大学卒業後、日系信託銀行、外資系資産運用会社にて資産運用業務に従事。2008年11月に鎌倉投信株式会社を設立し、代表取締役社長に就任。独自の視点で「いい会社」に投資し、その発展・成長を応援することを通じて「投資家の資産形成と社会の持続的発展の実現」を目指している。

安宅 和人 氏：マッキンゼー（11年間）、ヤフーCSO（10年間）を経て現職。データ・AIによる社会システム設計を専門とし、政府の科学技術・AI政策形成にも参画。データサイエンティスト協会 設立理事・スキル定義委員会委員長。東京大学 生物化学修士、イェール大学 脳神経科学博士(Ph.D.)。主著に『イシューからはじめよ』『シン・ニホン』『風の谷という希望』。

ナビゲーター

アマタホールディングス株式会社 代表取締役会長 兼 CVO 熊野 英介

第3回

組織の羅針盤

「マルチエージェントAI時代の組織設計とは」

マルチエージェントAIにより、労働生産性の時代は終わり、価値生産性の時代が到来しました。組織は中央集権型から自律分散型・自己組織化へと移行し、企業は生産装置から「関係性の編集者」へと役目をえます。今回は、生態系の原理原則から、これからの価値創出人財のあり方と、イノベーションを生み続ける組織メカニズムを考察します。

【論点】

- 企業組織の新たな意義と美意識の重要性
- AIと協働する価値創出人財・イノベーション原理
- 生態系に学ぶ自律分散型・自己組織化型の組織と再生モデルの実装原理

登壇者

船橋 真俊 氏

株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所リサーチディレクター



山下 範久 氏

立命館大学 デザイン・アート学部 教授



船橋 真俊 氏：ソニーコンピュータサイエンス研究所リサーチディレクター。一般社団法人シネコカルチャー代表理事、株式会社Syneco代表取締役社長。獣医師・物理学博士。生物多様性に基づく農業「シネコカルチャー（Synecoculture）」を創出し、人間活動を含む「拡張生態系」の科学を構築。生物多様性と社会の持続的共進化を支える新たな社会基盤の実現に取り組む。

山下 範久 氏：1971年生まれ。ニューヨーク州立大学ビンガムトン校社会学部大学院でI・ウォーラステインに師事したのち、東京大学大学院総合文化研究科博士課程を満期退学後、北海道大学大学院文学研究科助教授、立命館大学国際関係学部教授等を経て、2026年から現職。専門は歴史社会学、社会理論。2020年度から2025年度まで学校法人立命館企画担当常務理事。

ナビゲーター

アマタホールディングス株式会社 代表取締役会長 兼 CVO 熊野 英介

第4回

総括

「知性・市場・組織の羅針盤が指し示す航路とは」

知性・市場・組織という三つの羅針盤が指し示すのは、技術革新の先にある人間拡張と、社会構造の再設計です。日本には世界最大の社会課題解決市場（ソーシャルインパクト市場）があります。総括回では、過去3回の議論を踏まえ、企業経営による社会課題解決市場の開拓と、経済大国から循環大国への転換について掘り下げます。

【論点】

- 三つの羅針盤の統合が示すもの
- 最大市場である課題解決市場の開拓
- 循環型社会への実装構想
- 経営幹部が持つべき哲学と行動原理

登壇者

熊野 英介

アマタホールディングス株式会社 代表取締役会長 兼 CVO



宮原 伸朗

アマタ株式会社 代表取締役社長



熊野 英介：1979年の創業以来、自然資本と人間関係資本の増加に資する事業により持続可能な社会を目指すアマタグループを牽引。天然資源代替となる循環資源の製造や、日本初の国際エコーベルの審査サービスなど、社会課題解決に資する新規事業を創出。2009年に（公財）信頼資本財団を設立し、現在はファウンダーを務める。

宮原 伸朗：2007年にアマタに合流後、環境管理システムの導入支援、企業へのコンサルティング等に従事。経営企画部門、新規事業開発のリーダーを経て、サーキュラーエコノミーの実践コンソーシアム（J-CEP）の事務局を担当。2023年には内閣府が進める戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の研究開発責任者を務め、2026年1月よりアマタ株式会社の代表取締役社長に就任。

※プログラム・登壇者は、変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

2026
7/28
(火)
16:00
|
18:00

会場参加
18:10-19:15
懇親会

2026
7/9
(水)
16:00
|
18:00

会場参加
18:10-19:15
懇親会

2026
10/9
(金)
16:00
|
18:00

会場参加
18:10-19:15
懇親会

2026
11/19
(木)
16:00
|
18:00

会場参加
18:10-19:15
懇親会